

桜の花も散り、いよいよ春本番。初々しさが目立っていた新入社員や新入生も、新しい環境になじまれた頃でしょう。現在会員登録数 1,399 人さま。ご愛読ありがとうございます。次号は5月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 44

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

《4》 行って来ました!

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

●「おはなしボランティア ステップアップ講座」の受講生募集

図書館や学校等でおはなしボランティアをされている方を対象に、絵本の選び方やプログラムの立て方について実践的な講座を行います。さまざまな地域のボランティアと交流しながら、おはなし会の充実をめざしましょう。

1. 日程と内容：全5回、各回2時間（10：00～12：00）

第1回 5月23日（金） 絵本を選ぶ

第2回 5月30日（金） 絵本を読む

第3回 6月13日（金） プログラムをたてる

第4回 6月27日（金） プログラムの実践

第5回 7月4日（金） プログラムの実践・まとめ

2. 会 場：大阪府立中央図書館 2階会議室（東大阪市荒本）

3. 講 師：川内五十子（阪南大学 非常勤講師）

土居 安子（当財団 主任専門員）

4. 対 象：大阪府域でおはなしボランティアを1年以上行っている方で、全5回参加できる方

5. 募集人数：30名 \*申込み多数の場合は抽選

6. 参加費：無 料

7. 申 込：氏名（ふりがな）、〒住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス、ボランティア経験年数、主な活動場所、応募動機（100字以内）を書いて、当財団ホームページ「参加申込」ボタンまたはファックス 06-6744-0582

8. 締切日：5月9日（金）

9. 主 催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

助 成：子どもゆめ基金助成活動

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

---

【2】コラム

---

\*\*\*\*\*

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

\*\*\*\*\*

『精霊の守り人』 上橋菜穂子/作 二木真希子/絵 偕成社 1996年7月

対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：30歳のバルサは短槍使いの女用心棒。ある日、川でおぼれそうになった新ヨゴ皇国の第二皇子チャグムを救う。チャグムはこの世と接する異界（ナユグ）の「水の守り手」が100年に一度産む卵を宿していた。帝がチャグムの暗殺を試みたため、チャグムの母はチャグムをバルサに預ける。呪術師のトロガイ、その見習いでバルサの幼馴染のタンダ、星読博士のシュガは卵の謎を追い、国の干ばつを阻止するためには、卵が無事孵ることが必要だとわかる。ところが、卵を追ってナユグからラルンガという魔物がチャグムを襲う。

Y：上橋菜穂子さんが子どもの本の分野における最高の国際的な賞「国際アンデルセン賞」を受賞されたので、『精霊の守り人』を読み直すことにしました。

O：この作品が出版された時、これまでの日本の作品とは全く違うファンタジー作品が出たと感激したことを今でも覚えています。主人公が女性のボディガードというのはもちろんですが、当時一番新しいと思ったのは「文体」でした。情緒的な文章ではなく、論理的に出来事や会話を淡々と描く中で登場人物の感情を表現していく明解な文体はとても新鮮でした。今回、読み直して、翻訳を通して失うものが少ない文章なのが、国境を越えやすくしたのだと思いました。

Y：私も初めてこの作品に出会った時のことを覚えています。日本にもやっと世界に紹介できるファンタジーが出たと思いました。世界観がしっかりしていて、魅力的な人物が登場する。政治という大きな物語と人と人との関わりという小さな物語の両方描かれていてそれが一つの作品の中に巧みに織り込まれている。そして、読み直して、本当に多様なテーマが描かれている作品だと再認識しました。物語とは何か、歴史や政治とは何か、口承文化と文字文化、チャグムの成長、バルサとタンダとチャグムの疑似家族、バルサとタンダの恋愛、戦うということ・・・などです。

O：上橋さんが、子どもの頃から多くのファンタジー作品を読んでこられ、それを自分のものにされていることや、文化人類学者として、多文化コミュニケーションの問題を追究されてこられたことが根幹にあるのですね。祖母から孫へなされた伝承が問題を解くかぎになっていたりして…

Y：読み直してもう一つ強く感じたのは、身体感覚の描写が丁寧だというこ

とです。チャグムがナグユに取り込まれそうになって元に戻るときの感覚、バルサがチャグムの肩に手を置く様子など、コミュニケーションの基礎としての人と人のふれあいが随所に書かれています。

O：そうですね。抱きしめる、眠る、食べる、危険を知るなど、生きるために基本的なことが多く出てきます。これらは日本の作品ではあまり描かれてきませんでした。

Y：アニメーション化されて評価を得たのも世界で評価された一因になりました。

O：この作品がキリスト教などの一神教によらないファンタジー作品であることも 21 世紀的だったのですね。上橋さん、受賞おめでとうございます。

\*\*\*\*\*

## 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 44

\*\*\*\*\*

### その8 おはなし会の実際（2）始め方

おはなし会の始め方にはいろいろな方法がありますが、最も大切なことは、子どもたちが絵本やおはなしを楽しむ場を作ることだと思います。

おはなし会は本や絵本を通した子どもとのコミュニケーションですから、いきなり本を読んだりおはなしをしたりするのではなく、語り手または読み手が、子どもたちをしっかりと見て、挨拶をする、自己紹介をする、テーマがある場合は、テーマの紹介をするということが重要だと思います。と言っても、絵本やおはなしを楽しみに来ている子どもたちに、だらだらと自己紹介をしたり、長々とテーマの説明をしたりすると場がしらけてしまいます。簡潔さが求められます。

最初にテーマソングを決めてぬいぐるみなどともに歌を歌うグループがあります。歌が終わったら、おはなし会が始まるというルールができていると、子どもたちがおはなしの世界に入りやすいという意味では効果的な方法の一つと言えるでしょう。ただ、公共図書館などで小学生以上の子どもが輪の中に入りにくい雰囲気になったり、子どもが歌で興奮してしまい、おはなし会に入りにくくなったりしそうな場合は、歌なしで始めてもいいかもしれません。

テーマの紹介は、「動物」がテーマとすれば、子どもたちに好きな動物を聞いて、「今日はどの動物がでてくるかな？」と言っておはなし会に入ったり、「花」がテーマであれば、実物の花を一輪持ってきてそこから始めたりいろいろな工夫ができると思います。地図や絵、写真などを使うこともできます。ただ、これもあまりに懲りすぎると、おはなし会の前に子どもたちが疲れてしまいます。あくまでも、テーマを紹介して、絵本やおはなしにつなげるという目的に徹することが大切です。

\* 次号は「その8 おはなし会の実際（3）手遊び・終わり方」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思います。（Y）

\*\*\*\*\*

## 《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

\*\*\*\*\*

一次資料データベース篇 24 回目。ご紹介するのは以下のサイトです。

●国立公文書館 アジア歴史資料センター <http://www.jacar.go.jp/>

以前、本欄で取り上げたサイトに、「国立公文書館デジタルアーカイブ」(<http://www.digital.archives.go.jp/index.html>)があります。これは、国の行政機関などから移管を受け、公文書を保存管理する国立公文書館の資料画像のデータベースですが、今回ご紹介するサイトは、以上に加えて外務省外交史料館、防衛省防衛研究所戦史研究センターが保管するアジア歴史資料を横断的に検索できるようにしたものです。

提供される資料は、〈国の機関が所蔵公開している歴史資料のうち、日本とアジア近隣諸国等の歴史に関する資料〉(サイトより)で、数にして2,600万画像(平成25年4月現在)という膨大なものです。

実にさまざまな文書が抽出できますが、例えば「児童雑誌検閲簿」なる記事では、雑誌「少年少女譚海」19巻15号が〈懸賞、色彩、記事不良ノ点多ク、警告〉とあるほか、〈「鞍馬天狗御用盗異門(ママ)」ナル記事中P56ニ於ケルモノハ風俗注意処分ニ附シタリ。十一月九日編集部高杵栄次ノ出頭ヲ求メ、右ノ事項通達ス〉とあります。また、「少女倶楽部」は〈誇大ナル自家広告、懸賞、低調ナル漫画トソノ色彩等ノ諸点ニ対シ注意ヲ喚起〉、「少女の友」は〈個々ノ記事支障ナキモ、全体的ニ主情的ニ偏スル嫌アリ〉との記述が見られ、昭和13年当時の内務省の検閲実態の一端がうかがえます。

さらに、絵本の著作権侵害の告発がイギリスの出版社より寄せられたという外務省文書、「少年世界」記者の日露戦争従軍願文書、日本童話協会雑誌「アンデルセン」六十周年忌記念号に外務大臣廣田弘毅が寄せた辞など、内地外地を問わず、実に多彩な文書が抽出できます。

こうした文書は、一昔前であれば殆どその存在すらわからなかったものばかり。公開されることの重要さをあらためて思い知らされます。(J)  
※次号は、一次資料データベース篇〈その25〉の予定です。

\*\*\*\*\*

《4》 行って来ました！

\*\*\*\*\*

滋賀県守山市にある佐川美術館で開催中の「ウルトラマン創世記展 ウルトラQ誕生からウルトラマン80へ」に行ってきました。1966年～1980年に放送されたウルトラマンシリーズが、「ウルトラ伝説の始まり」「光の国を創った人々」「ウルトラ兄弟の誕生」「ぼくらのヒーローウルトラマン」の4部構成で紹介されていました。

最初に円谷英二がウルトラマンを生み出すまでの経緯が解説されていて、特撮の映像だけでなく、テレビドラマとしての面白さにも力を入れていたことがわかります。特撮の工夫や、緻密に描かれたデザイン画から怪獣を作り上げる様子の解説など、作る人たちの熱意が伝わってきました。

第2部、第3部では、シリーズのタイトルごとに、エピソードの紹介パネルや、撮影に使用されたウルトラマンのマスクや怪獣の体の部分、乗り物、衣

装、台本などが展示されています。大きく広げられた「ウルトラマンタロウ」の赤い手が展示されていて、テレビから本当に飛び出てきそうに感じていた、右手を突き出して登場するシーンがよみがえりました。

第4部では、ソフトビニール人形やおもちゃなどが展示され、ビデオがなかった時代の子どもたちの記憶を定着させ、情熱をかきたてたという解説になるほどと思いました。また、プラモデルの箱用に描かれた小松崎茂の原画や、「少年マガジン」などの雑誌に掲載された南村喬之の原画など、ウルトラマンと怪獣の戦う迫力のある絵がたくさんありました。

展示室までの廊下にも怪獣がところどころに立っていたり、歴代のウルトラマンが並んでいたりと、何組ものお父さんと子どもが楽しそうに写真を撮っていました。外に出ると、さざなみが立つ水庭の中に浮かぶように建てられた美術館の陰から怪獣が出てきそうな気がして、振り返りながら帰りました。  
(K)

---

### 【3】全国のイベント紹介

---

#### ● くずはアートギャラリー 記念企画展第2弾

「三世代が愉しむ絵本展 ～70年代からの表現と荒井良二の世界～」

会 場：くずはアートギャラリー（枚方市楠葉）

期 間：開催中～5月6日（火・休） 午前10時～午後7時（入場6時30分）

休館日：木曜日

入場料：無料

◇ 関連イベント【トーク：今も昔も絵本好き！】

ゲスト：三宅 興子（大阪国際児童文学振興財団 理事長）

内 容：日本における1970年代の絵本を取り巻く環境と、その後の発展。

名作と呼ばれる絵本の裏側には、それを支えてきた出版社や編集者と作家との様々な物語が隠されています。

日 時：4月29日（火・祝） 午後1時～

会 場：くずはアートギャラリー内

入場料：無料

主 催：枚方市 /（公財）枚方市文化国際財団 / 京阪電気鉄道（株）

#### ● 第24回 箕面手づくり紙芝居コンクール 作品募集

募集期間：募集中～5月15日（木）必着

募集規定：アマチュアの手作り作品に限る、ほか

募集部門：・ジュニアの部（作者・画家・演者とも小学生・中学生の作品）

・一般の部A部門（個人団体を問わず当コンクール入賞経験者）

・一般の部B部門

主 催：箕面市教育委員会 / 人と本を紡ぐ会

問合せ：箕面市立中央図書館

#### ● 絵本作家 谷口智則さん講演会 「絵本がつなぐ日本と世界」

日 時：5月25日（日）午後2時～3時30分

会 場：大阪府立中央図書館 2階大会議室（東大阪市荒本）

定 員：80人（申込先着順）

参加費：無料

申込み：大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

◇ 絵本原画展

谷口智則さんの絵本原画と、国際児童文学館所蔵の資料を展示します。

期 間：5月20日（火）～6月1日（日） 月曜休館

午前9時～午後7時（土日は午後5時まで）

場 所：大阪府立中央図書館 1階展示コーナー

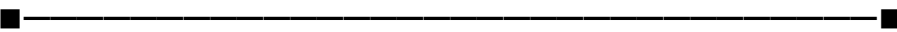
入場料：無料

主 催：大阪府立中央図書館 / 四條畷市教育委員会

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/04\\_other/index.html](http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html)

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

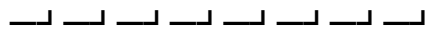


#### 【4】プレゼント

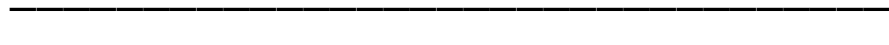


今号のコラム《1》「YO!この本読んだ?」で紹介しました『精霊の守り人』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガNO.44プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ(5)このメルマガのご感想 をお書きのうえ [office@iiclo.or.jp](mailto:office@iiclo.or.jp) にお送りください。締切は5月12日(月)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |



新年度がスタートした。この1年、もう1年と繰り返して5年が過ぎた。日本の人口の4人に1人が65歳以上になったそうだ。ということは、私は最高齢の人から25%のところにいることになる。そう考えると、まだ“若造”の仲間に入れていただいても良いような気がする。少しだけ心若くして、もう1年…。(A)



みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメルマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

[http://www.iiclo.or.jp/m1\\_magazine/index.html](http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html) パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp

